



自然保育活動事例紹介

森のようちえんきらきら星

 園の所在地：山梨県南巨摩郡富士川町春米2128-1

 代表者氏名：宇田川 朱恵

 電話番号：080-3404-8943

 園ホームページ：<http://kirakiraboshi.wooder.info>

活動場所

増穂森林総合研究所内森の教室

増穂ふるさと自然塾

園舎近くの川や里山、畑など

ツリーハウス



活動のねらい

- 子どもたちが主体的に遊ぶ中で、健康な体と心を育て、自ら工夫したり、あきらめずに続ける粘り強さを育てる。
- 季節の移り変わりや様々な自然を五感で体験することで、自然の多様性を学び、感受性を豊かにし、自然や生き物を大切にする心を育てる。
- 大地をしっかりと踏みしめることで、生の実感を持ち、自己肯定感を育てる。



斜面で遊ぶことで、足腰の力を
つける



活動内容

4月散歩・畑仕事・山菜摘み 5月末・6月泥んこ遊び・雨
降り散歩・お田植・梅もぎ 7月川遊び・雨降り散歩・キャ
ンプ 8月川遊び・登山 9月里山歩き・お月見 10月稲
刈り・お山の運動会 11月脱穀・収穫祭 12月もちつき
1月どんど焼き 2月節分・雪遊び 3月ひな祭り・春探検
毎月 たきびでお料理をする野外炊飯を行っています。



異年齢児で協力して稲刈り。刃先気をつけて。

子ども達の気付きや育ち

赤とんぼのわらべ歌を歌ってから、散歩に出かけました。赤とんぼ！赤じゃない。オレンジだ。あっちは何トンボ。青いから青トンボ。と言って青トンボと歌いだす子。トンボになって走ったり(本人は飛んでいるつもり)、五感で感じて、湧き出るものがあるってそれぞれのやり方で表現しています。

川遊びや木登り、石登り、高いところからのジャンプを通して、子どもたちが自分と向き合い、やるかやらないかを決めている。

「手伝おうか？」の声掛けに、「いい(いらない)」、「手伝って」と答えも様々。静かな自分との対話の時間です。

保育士が伝える前に、危ない箇所を判断してよけたり、ここを登るといいよ、と他の子に教えてあげたり、自分の安全を守る、他人の安全も気遣う、大人に言われたからやる(やらない)のではなく、自分で考えて行動できる芽が育っています。

倒木に乗りながら、「これは宇宙船ってことね。やっぱり、車にしようよ。未来の車だよ。」おもちゃのない野外でも、自然物を色々なものに見立てて、お友達と話し合いながら、想像力をたくましくして遊びを展開しています。

